



さつま町議会議長
濱田 等

新年明けましておめでとございます。

平成18年の年頭にあたり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

旧年中は町政の推進と町議会活動に対し、町民の皆様の温かいご支援とご鞭撻を賜り、厚くお礼を申し上げます。

特に昨年は、新町発足に当たり、旧町から新町への各種分野での引継ぎや体制づくりに向けて、関係者の皆様には大きなご尽力を賜ったと、こころから敬意と感謝を申し上げる次第であります。

さて議会におきましては、昨年4月の設置選挙によって28人による新しい議会構成のもと、各定例議会、



予算・決算特別委員会と、新町の行財政運営の方向付けに取り組んで参りました。また併せて行財政改革特別委員会をはじめとする4つの特別委員会を構成し、新町の基盤づくりに向けて重要となる取り組みを進めておりまして、新町議会の果たすべき役割を担ってきたと思うところであります。

国は小泉内閣による一連の構造改革で、郵政民営化に象徴されるように速いテンポで国の財政健全化に向けた取り組みを進めております。このうち、地方公共団体にあつては今後とも一層の行財政改革に向けた努力が求められております。

今、国政・地方行政の大転換期に、新町「さつま町」にその未来を託して、地方分権の主体として担いうる行政能力と財政基盤を確立した新町を目指して、町民の皆様の理解と協力的のもとに皆様と一体となつてその基盤づくりを進めていく事が、次の世代に対する私どもの責務であると思つたわけであります。

このためには、これまで以上に地域のつながりを深めて、知恵を寄せ、それぞれの地域作りに、それぞれのふるさとを一つのものにする努力をしていくことが必要であると思



う次第であります。

昨年、合併1年目の各種記念行事におきましては、皆様の理解のもと多数のご参加をいただき、意義ある記念事業として実施できたことは大変喜ばしくありがたく思うところであります。

議会といたしましては町民の意向を町政に反映できるよう、今後とも積極的に活動を展開して参りたいと考えておりますので、皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成18年が皆様にとって幸多い輝かしい年となることを心から御祈念申し上げます、新年のあいさつといたします。